

横浜市立大学 ミニ・オンライン説明会 指定校制学校推薦型選抜について

- ① 国際教養学部、国際商学部、理学部、
データサイエンス学部、医学部看護学科で実施。
- ② どの高等学校が指定校かは、大学からは非公表。
 - 高校や受験生が明らかにすることは自由。
 - 対象は日本の教育制度による高等学校・中等教育学校。
(全日制の課程)
- ③ その年の推薦枠については例年6月末に、
今年は7月上旬に対象校に通知。
 - 余程の事が無ければ推薦枠は例年通り。

アドミッションズセンター 出光 直樹

新型コロナウィルス感染症拡大による 環境の変化への対応の考え方 (2020/6/16 現在)

【入試日程について】

- 文部科学大臣が、大学入試の実施時期を後ろ倒しにする考えを、
記者会見(5/29金)で表明
https://www.mext.go.jp/b_menu/daijin/detail/mext_00065.html
- 例年、文部科学省から大学に通知している「大学入学者選抜実施要項」
にその結論がもりこまれ、6月中旬に公表される予定。
https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/senbatsu/1346785.htm
- この内容によっては、現在発表している日程の変更もあり得る。

【出願の際に提出が必要な英語資格について】

- 提出が必要な資格の内容そのものについての変更は、想定していない。
- 応募する入試の出願期間までに、提出が必要な資格の成績が何らかの形で確認できれば、正式な証明書の提出が遅れても構わない。

日本の大学入試の全体像

入試	特徴	時期	併願
AO入試 ↓ 総合型選抜	やり方に様々なバリエーションがあるが、 基本的に“自己推薦型”的入試。 国公立大学では共通テストを課すものもある。	9月 以降	×が多い
特別入試 ↓ 特別選抜	帰国生、留学生、社会人などの特別な属性の者 を対象にした入試。筆記試験+面接が多い。	様々	○が多い
推薦入試 ↓ 学校推薦型 選抜	【指定校制】志願→合格→入学が前提 【公募制】小論文+面接での競争試験が多いが、 国公立大学では共通テストを課すものもある。	11月 以降	×が多い
一般選抜	基本的に学力試験のみが主で、 一部に面接や実技試験なども課される。 国公立大学は必ず共通テストを利用する。	2月 以降	○

横浜市立大学の入試日程概要 (出願期間～選考日)

9月～10月 <教養・商学・理学> 総合型選抜 (書類 → 面接)

9月～10月 <教養・商学・理学・DS>
帰国生・国際バカロア・科学オリンピック・留学生・社会人(筆記+面接)

10月～1月 <DS> 総合型選抜 (書類 → 面接 → 共通テスト)

11月 <教養・商学・理学・DS・看護> 指定校制推薦 (面接)

11月 <看護> 国際バカロア (面接)

11月～1月 <医学> 特別公募制推薦 (書類 → 面接 → 共通テスト)

11月～1月 <医学> 国際バカロア (書類 → 面接 → 書類)

1月 <教養・商学・理学> 公募制推薦 (共通テスト)

1月～3月 一般選抜 (共通テスト+2次) * DSは後期日程も実施

現時点での指定校制学校推薦型選抜の実施日程

7月上旬 指定校に今年度の推薦枠と指定値を通知

9月上旬 今年度の募集要項(願書)を指定校に送付

11月2日(月)～5日(木) 出願期間

11月21日(土) 試験日＜面接＞

午前 DS{集団面接}、看護{個人面接}の予定

午後 教養・商学・理学{集団面接}の予定

12月1日(火) 合格発表

12月24日(木) 入学手続(入学金・施設設備費の納入)

国際教養学部の要件

次の(1)、(2)いずれにも該当する者

(1) 高等学校在学中の学業成績が、次のア・イいずれかに該当する者

ア. 全体の評定平均値が 指定値以上 の者

イ. 「国語、数学、外国語(英語)」、「国語、地歴、外国語(英語)」または「国語、公民、外国語(英語)」の評定平均値の平均 * が 指定値以上 の者

(2) 2018年4月以降に受検した、TOEFL-PBT460(iBT48)以上、TOEIC(L&R)500以上、GTEC{2018年度の3技能版600、2019年度以降の4技能版1000}以上、英検2級以上、またはIELTS(アカデミック・モジュール)4.5以上のいずれかのスコア・級を有し、公式な証明書を提出できる者

※TOEFL-PBT500(iBT61)以上、TOEIC(L&R)600以上、GTEC{2018年度の3技能版700、2019年度以降の4技能版1140}以上、英検準1級以上、またはIELTS(アカデミック・モジュール)5.0以上のいずれかのスコア・級を有する者は、上記ア・イの“指定値以上”を“3.5以上”と読みかえることができる。

国際商学部の要件

次の(1)、(2)、(3)いずれにも該当する者

(1) 高等学校在学中の学業成績が、次のア・イいずれかに該当する者

ア. 全体の評定平均値が 指定値以上 の者

イ. 「国語、数学、外国語(英語)」、「国語、地歴、外国語(英語)」または「国語、公民、外国語(英語)」の評定平均値の平均 * が 指定値以上 の者

(2) 「数学Ⅰ」「数学A」「数学Ⅱ」「数学B」の4科目、または「数学Ⅰ」「数学A」「簿記」「財務会計Ⅰ」の4科目を、修得または修得見込みの者

※上記に指定する科目と同様の内容を、他の名称の科目で履修している場合は、その旨の学校長名の証明を調査書に添付すること。

(3) 2018年4月以降に受検した、TOEFL-PBT460(iBT48)以上、TOEIC(L&R)500以上、GTEC{2018年度の3技能版600、2019年度以降の4技能版1000}以上、英検2級以上、またはIELTS(アカデミック・モジュール)4.5以上のいずれかのスコア・級を有し、公式な証明書を提出できる者

※TOEFL-PBT500(iBT61)以上、TOEIC(L&R)600以上、GTEC{2018年度の3技能版700、2019年度以降の4技能版1140}以上、英検準1級以上、またはIELTS(アカデミック・モジュール)5.0以上のいずれかのスコア・級を有する者は、上記ア・イの“指定値以上”を“3.5以上”と読みかえることができる。

理学部の要件

次の(1)、(2)、(3)いずれにも該当する者

(1) 高等学校在学中の学業成績が、次のア・イいずれかに該当する者

ア. 全体の評定平均値が 指定値以上 の者

イ. 「数学、理科、外国語(英語)」の評定平均値の平均 * が 指定値以上 の者

※数学Ⅲの評定が 4.0以上の者は、上記ア・イの“指定値以上”を“3.5以上”と読みかえることができる。

(2) 「物理基礎+物理」、「化学基礎+化学」、「生物基礎+生物」のうち、いずれか2つの科目群を修得または修得見込みの者

※上記に指定する科目と同様の内容を、他の名称の科目で履修している場合は、その旨の学校長名の証明を調査書に添付すること。

(3) 2018年4月以降に受検した、TOEFL-PBT460(iBT48)以上、TOEIC(L&R)500以上、GTEC{2018年度の3技能版600、2019年度以降の4技能版1000}以上、英検2級以上、またはIELTS(アカデミック・モジュール)4.5以上のいずれかのスコア・級を有し、公式な証明書を提出できる者

※TOEFL-PBT500(iBT61)以上、TOEIC(L&R)600以上、GTEC{2018年度の3技能版700、2019年度以降の4技能版1140}以上、英検準1級以上、またはIELTS(アカデミック・モジュール)5.0以上のいずれかのスコア・級を有する者は、上記ア・イの“指定値以上”を“3.5以上”と読みかえることができる。

データサイエンス学部の要件

次の(1)、(2)いずれにも該当する者

(1) 高等学校在学中の学業成績が、次のア・イいずれかに該当する者
 ア. 全体の評定平均値が 指定値以上 の者

イ. 「国語、地歴、数学、外国語(英語)」、「国語、公民、数学、外国語(英語)」または「国語、数学、理科、外国語(英語)」の評定平均値の平均 * が指定値以上 の者
 ※ 数学Ⅲの評定が 4.0 以上の者は、上記ア・イの“指定値以上”を“3.5 以上”と読みかえることができる。

(2) 2018年4月以降に受検した、TOEFL-PBT460(iBT48)以上、TOEIC(L&R)500以上、GTEC{2018年度の3技能版600、2019年度以降の4技能版1000}以上、英検2級以上、またはIELTS(アカデミック・モジュール)4.5以上のいずれかのスコア・級を有し、公式な証明書を提出できる者

※TOEFL-PBT500(iBT61)以上、TOEIC(L&R)600 以上、GTEC{2018年度の3技能版700、2019年度以降の4技能版1140}以上、英検準1級以上、またはIELTS(アカデミック・モジュール)5.0以上のいずれかのスコア・級を有する者は、上記ア・イの“指定値以上”を“3.5以上”と読みかえることができる。

医学部看護学科の要件

次の(1)、(2)、(3)いずれにも該当する者

(1) 高等学校在学中の学業成績が、次のア・イいずれかに該当する者

ア. 全体の評定平均値が 指定値以上 の者

イ. 「国語、数学、理科、外国語(英語)」の評定平均値の平均 * が 指定値以上 の者

(2) 2018年4月以降に受検した、TOEFL-PBT460(iBT48)以上、TOEIC(L&R)500以上、GTEC{2018年度の3技能版600、2019年度以降の4技能版1000}以上、英検2級以上、またはIELTS(アカデミック・モジュール)4.5以上のいずれかのスコア・級を有し、公式な証明書を提出できる者

※TOEFL-PBT480(iBT54)以上、TOEIC(L&R)550 以上、GTEC{2018年度の3技能版650、2019年度以降の4技能版1070}以上、英検2級(CSE2200)以上、またはIELTS(アカデミック・モジュール)5.0以上のいずれかのスコア・級を有する者は、上記ア・イの“指定値以上”を“3.5以上”と読みかえることができる。<今年度変更点>

(3) 看護学を志し、生命を尊ぶ姿勢や倫理観を有し、地域社会の人々の健康と福祉に貢献しようとする意志のある者

※卒業後は横浜市内を中心とした地域医療へ積極的に貢献できる者。

(注) 面接では上記(3)の資格を有するかを判断するための質問をします。
 これをもとに合否を決定します。

Q & A

Q. 提出する英語資格の証明書は、コピーでも良いですか？

A. いいえ、原本を提出してください。

英検の「合格証明書」、TOEICの「Official Score Certificate」は、実施機関に請求すれば隨時追加発行されますので、各自で用意して提出してください。

TOEFLとIELTSについては、実施機関よりTOEFLの「Official Score Report」(DI-CODE:0416, Department Code:00)、IELTSの「Test Report Form」を、本学へ直送するように手配してください。

GTECについては、2018年度の3技能版は「スコアレポート」(氏名・スコア・実施期日の記載された表紙部分)のコピーに出身高校(GTEC実施校)の公印を受けたものを、2019年度以降の4技能版(CBT含む)は「OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」の原本を提出してください。

TOEFL-ITPとTOEIC-IP(ともに出身高校が実施したものに限る)の場合は、高校が発行する証明書(様式任意)を提出してください。

※結果が判明していて原本が遅れる場合は、願書には結果をプリントしたものを同封し、原本は追って送付する。

Q & A

Q. 指定校や推薦人員は毎年変更されますか？

A. 指定校や各校の推薦人員については、毎年見直しを行っています。既存の推薦人員については、応募者数が満たなかったり、入学者の成績不振が続いた場合には減員となることがあります。また、新規の指定や推薦人員の増員については、指定校制学校推薦型選抜以外の入学者数、本学入学後の成績等を考慮して決定しています。

Q. 指定校制学校推薦型選抜の入学者は、一般選抜の入学者と比べて、大学入学後の学習に苦労しますか？

A. いいえ、基本的に心配ありません。選抜区分毎に大学入学後の成績(科目成績の平均、修得単位数、Practical English 合格率)を追跡調査していますが、指定校制学校推薦型選抜の入学者の科目成績の平均・修得単位数は一貫して優れています。TOEFL-ITPが要件となるPractical English の合格率についても、出願要件(英語資格)の水準引き上げにともない向上していきます。

※その他参照→ https://www.yokohama-cu.ac.jp/admis/undergraduate/faq_shiteikou.html